

令和8年2月8日執行

富山県
第1区衆議院小選挙区選出議員選挙公報
富山県選挙管理委員会

国土

外国人土地取引規制法の推進

私は平成25年(第185回)国会において「国家安全保障上重要な土地の取引規制法律案」を議員立法として提出いたしました。その後、何度も国会で質問に立ち、国としての速やかな対応を求めてきました。我が国の土地を外国勢力から守ることは国の基本です。

引き続き、「日本として守らなければいけないこと」をしっかりと前に進めています。

憲法改正

時代に合わせた憲法を

我が国が目指す理想を表し、あらゆる法令の根本となるのが憲法です。現在の日本国憲法全文の矛盾を修正し、正しい日本語での表現に改めます。第9条を改正し国を守る自衛隊を明記するとともに緊急事態条項を新設します。

国會議員の責任として憲法改正を発議し、国民投票を実現します。

ふるさと
富山があるから私がいる

富山で生まれ、アルミ会社に勤務する父の転勤で、横浜、大阪で育ちました。盆と暮れの帰省は子供の頃の一大イベント。上野から7時間の長旅、横川の峠の釜飯が羨美でした。

針原の実家で立山連峰を見、美味しい水を飲み、叔父さんが育てたお米を食べてきました。最近はラーメンも樂みです。私の原点であり、骨を埋めるのはやはり富山です。

中田 宏

比例代表も
自民党へ

SNS各種

富山

富山の発展に全力を尽くす

市長経験を踏まえ、暮らしの不安を取り除く社会保障の充実に取り組みます。インフラ整備など富山の活性化のために国から強力にバックアップします。富山の強みである医薬品製造は国内自給のサプライチェーンを構築します。また、輸入に依存しない資源確保のため、富山を国の資源循環重点地域にします。中小企業・小規模事業者の生産性向上・事業再編の成長を徹底的に支援します。

経済
環境=経済

DXとGXで生産性を向上させて国際競争力を高めます。「脱炭素」は確実に経済成長をもたらします。産業立地や技術革新を促し、ものづくりやサービスの国際競争力を高めます。資源循環型経済を促進し、経済と資源確保の自立性を高めることは国の安全保障に繋がります。

中田 宏 プロフィール 内閣府大臣補佐官
前参議院議員 前環境副大臣

- 1989年 青山学院大学経済学部卒業
松下政経塾入塾(10期生)
- 1992年 参議院議員小池百合子(現東京都知事)初代秘書
- 1993年 旧神奈川1区で衆議院議員選挙
初当選以後、3期連続当選
- NPO法、容器包装リサイクル法を制定する
- 2002年 無所属 横浜市長に当選
- 2006年 横浜市長に再選
- 徹底した行政改革で財政を健全化する
- 2009年 総務省顧問
- 2010年 カリフォルニア大学サンディエゴ校
PLF(Pacific Leadership Fellow)
- 2012年 衆議院議員選挙4期目当選
- 2022年 参議院議員
- 2023年 自由民主党環境部会長
- 2024年 環境副大臣 兼 内閣府副大臣
環境経済で日本経済の強化に取り組む
- 2025年 野菜ソムリエ資格取得
- 2026年 内閣府大臣補佐官



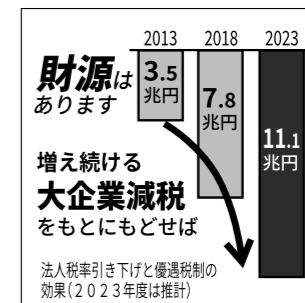
自由民主党

中
田
宏比例
代表は高市政権と正面から対決
対案を示し、がんばる議員1 物価高から
くらしを守る
が必要です

- 消費税は廃止めざし、いますぐ5%に減税
- 中小企業を支援し、最低賃金を1,500円に
- ケア労働者の大幅賃上げ、

医療介護の危機打開

- 大学の「学費ゼロ」めざし、今すぐ半額に
- 農家への価格保障、所得補償で米価引き下げ

2 大軍拡ストップ
9条いかした対話外交を

- トランプ政権追随でなく、税金の使い道は暮らし最優先に
- 中国にもズバリものを言いつつ

「お互いに脅威とならない」外交努力を

3 一人ひとりの人権が
大切にされる社会に

- 選択的夫婦別姓を実現
- 外国人への排外主義に反対し、
いかなる差別もなくします

自民党政治とまっこう対決。

憲法9条を真ん中に共同広げる野党が必要です。

1975年3月富山市生まれ、50歳。
富山地区副委員長。能登半島地震ボランティアに、青年学生と継続的に取り組む。

青山りょうすけ
リットリンク日本共産党 とお書き
ください

日本共産党

青山
りょう
すけ

令和8年2月8日執行

富山県第1区衆議院小選挙区選出議員選挙公報

富山県選挙管理委員会

ひとりひとりが日本

I am JAPAN 今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せることではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え方行動で日本を変えるのはあなたの覚悟と想います。日本はまだ間に合う。

1の柱 日本人を豊かにする～経済・産業・移民～

“集めて配る”より、ます“減税”

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”

労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。

現場の人々が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2の柱 日本人を守り抜く～食と健康・一次産業・エネルギー～

食は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

エネルギーと資源確保が生命線

諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

安心医療で健康国家

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3の柱 日本人を育む～教育・人づくり・国家観～

子ども一人につき月10万円

0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

受験戦争からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

日本はみんなの家

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

さいとう匠
プロフィール

34歳

北海道士別市出身。弘前大学院卒。工学修士。富山在住10年目。メーカー技術系会社員。2歳の男の子の父親。日本人としての誇りと、日本国への豊かさを取り戻すために「参政党」から立候補。



参政党公認

比例は参政党
さいとう匠

参政党の政策は
こちらの特設サイトから
とお書きください



8衆議院議員候補 山としひろ つの重点政策 生活者ファースト

1 物価高をとめて財政を立て直します

食料品消費税0% / 給付付き税額控除 / 円安是正税金の使い方を適正化 / 赤字国債発行を抑制

2 働く人が主役となる社会をつくります

持続的賃上げ / 最低賃金1,500円以上
正規雇用への転換 / 同一価値労働同一賃金

3 地域医療と公共交通を守ります

医療機関への支援 / 持続可能な地域公共交通
食料と農地を守る / 消防団員の待遇改善
被災者生活再建支援金の倍増

4 全世代に信頼される社会保障制度を構築します

年金の底上げ / 介護離職ゼロ対策
福祉従事者の給与引き上げ

5 子どもを育てやすい環境をつくります

公教育の充実 / 教職員の増員と待遇改善
高校・国公立大学の授業料無償化 / 児童手当の増額
保育園・幼稚園・こども園で働く人々の賃金引き上げ

6 人権はゆずりません

ジェンダー平等の推進 / 選択的夫婦別姓の実現
外国人、LGBT、障がい者など、共生社会の実現
えん罪の防止 / ギャンブル依存症対策

7 日本の平和と自由を守ります

核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加
防衛力の強化 / 自衛官、海上保安官の待遇改善
主張すべきは主張しつつ、日中関係を正常化

8 まっとうな政治を取り戻します

企業・団体献金の禁止 / 裏金を許さない
政治資金の徹底的な透明化

未来を見据えて、人間を大事にする政治を、
富山から『山としひろ』と一緒につくりましょう。

プロフィール

1979年12月 愛知県江南市生まれ 46歳
2002年03月 立命館大学法学部法学科 卒業
2006年03月 立命館大学大学院社会学研究科 修士課程修了
2007年04月 江南市議会議員選挙 初当選
連続当選4回 通算約13年在職 市議会副議長などを歴任
2020年11月 江南市議会議員 辞職
富山市へ移住 国政をめざした活動を開始
2021年03月 立憲民主党に合流
2024年10月 衆議院議員選挙 初当選
2026年01月 中道改革連合の結党に参加



オフィシャル
ホームページ

中道改革連合

山としひろ